

第6回(平成18年度)IODP部会執行部会・議事録

日時：2006年10月27日(金) 13:30~16:30

場所：海洋研究開発機構東京事務所 大会議室

出席者(敬称略)

執行部：鈴木徳行(北海道大学) 荒井晃作(産業技術総合研究所), 海野進(静岡大学),
佐藤時幸(秋田大学), 佐柳敬造(東海大学), 石橋純一郎(九州大学),
山本啓之(海洋研究開発機構) 北里洋(海洋研究開発機構)

オブザーバー

文部科学省海洋地球課：宿利一弥、杉山真人
海洋研究開発機構国際課：鷺尾幸久、笹山岳大
海洋研究開発機構地球深部探査センター；倉本真一、木戸ゆかり
事務局：山田泰 長橋徹 加賀谷一茶

欠席者(敬称略)

阿波根直一(北海道大学) 山田泰広(京都大学) 白井正明(東京大学海洋研究所)

議事次第

1. 報告事項

国際SAS関連

- (1) EPSP委員の任期について
- (2) STP委員選出報告；事務局
- (3) SSEP/STP代理委員選出報告；事務局

乗船関連

- (4) NanTroSEIZE (Stage 1)乗船研究者募集結果 [科学推進専門部会報告]；荒井委員、石橋委員、事務局
- (5) Equatorial Pacific乗船研究者募集開始について；荒井委員、事務局

普及/広報活動関連

- (6) E&O TF Meeting報告；木戸オブザーバー
- (7) 日本サンゴ礁学会第9回大会のJ-DESC後援について；鈴木部会長
- (8) IODP大学&科学館キャンペーン(東北大学)報告；事務局

研究支援関連

- (9) 会員提案型活動経費後期募集開始について；事務局

2. 審議事項

普及 / 広報活動関連

- (1) 第2回IODP成果報告会について：石橋委員，事務局
- (2) 地球惑星合同大会セッション（IODP）提案について；石橋委員
- (3) SSEP札幌会議への大学院生の出席（派遣）について：石橋委員，事務局

研究支援関連

- (4) 「海の地質基準」(日本地質学会海の地質基準委員会) 執筆者推薦と執筆協力の依頼について；鈴木部会長，佐柳委員、事務局
- (5) 『「わが国における海洋研究船のあり方に関する提言（案）」に関するご協力のお願ひ』について；北里委員
- (6) 会員提案型活動経費選考委員会委員の選出について；事務局
- (7) ちきゅう研究区画整備に関わるQAアドバイザー設置について；倉本オブザーバー

3. その他

- (1) IODP広報用DVD作成（AESTO製作）について
- (2) その他の報告事項など
- (3) 次回、執行部会日程

#；は予定説明担当者

配布資料

- 資料6-1 IODP 国際 SAS パネル・EPSP 委員の任期について
- 資料6-2 第5回 IODP 部会・執行部会・議事録（案）
- 資料6-3 SAS 委員会・パネル委員ローテーション表（案）
- 資料6-4 NantTroSEIZE (Stage 1)乗船研究応募者一覧
- 資料6-5 Equatorial Pacific Call for Applications
- 資料6-6 E&O TF Meeting 報告
- 資料6-7 日本サンゴ礁学会第9回大会後援依頼
- 資料6-8 IODP 大学 & 科学館キャンペーン（東北大学）報告
- 資料6-9 会員提案型活動経費下半期募集要項
- 資料6-10 第2回 IODP 報告会プレスリリース資料
- 資料6-11 「海の地質基準」執筆者推薦と執筆協力の依頼について、
- 資料6-12 「海の地質基準」編集方針
- 資料6-13 「わが国における海洋研究船のあり方に関する提言（案）」に関するご協力のお願ひ
- 資料6-14 会員提案型活動経費選考委員会委員の選出（案）
- 資料6-15 IODP 広報用 DVD 仕様書（案）
- 追加資料1 連合大会セッション提案原案
- 追加資料2 ちきゅう研究区画整備に関わる QA アドバイザー設置について
- 追加資料3 ちきゅう下北沖試験掘削結果について
- 追加資料4 J-DESC News letter Vol. 01

1. 報告事項

国際SAS関連

(1) EPSP委員の任期について；事務局

標記の件について、IODP-MI より、委員の大量交代を避けるために委員の任期期間の調整、再任等を各ナショナルオフィスにて柔軟に対応して欲しいとの通達があったことが、事務局より報告された。

(2) STP委員選出報告；事務局

事務局より、STP 山本委員の退任に伴う交代委員として、高知大学の池原実氏が選出され、執行部による承認の後に IODP-MI へ推薦が行われたことが報告された。

(3) SSEP/STP代理委員選出報告；事務局

事務局より、標記の件について以下の代理委員がそれぞれ選出され、執行部による承認の後に IODP-MI へ推薦が行われたことが報告された。

- ・ #7 SSEP 会議

小原委員の代理出席者として、海洋研究開発機構の阿部なつ江氏。

伊藤（慎）委員の代理出席者として、北海道大学の沢田 建氏。

- ・ #4 STP 会議

鈴木委員の代理出席者として、高知大学の岩井雅夫氏。

その他に、シュルンベルジェが CDEX と契約を結ぶ予定であるため、同社所属の EDP 委員が COI に抵触することになることが報告された。

乗船関連

(4) NanTroSEIZE (Stage 1)乗船研究者募集結果 [科学推進専門部会報告]; 荒井委員、石橋委員、事務局

募集の結果、67 名の応募があり、現在科学推進専門部会にてランキング中であること、月末までにはCDEXとUS-10へ結果が報告される予定であることが荒井委員より報告された。

- ・ KIODP枠、J-DESC枠を利用して、韓国人研究者が乗船できるよう考慮する。

- ・ ランキング落選者へ十分な説明ができるような体制を整える必要がある。

また、若手研究者乗船トレーニングについて、以下の内容が議論された。

- ・ 後継者育成のため、学生が10名程度を乗船できるようEquatorial Pacificでの日本人乗船研究者枠を移動することも検討し、IODP-MIに働きかけていく。

- ・ 学生の乗船を行う場合は、乗船身分（トレーニー、サイエンスパーティー）を明確にさせる必要がある。また、乗船報告の義務について検討する

- ・ トレーニングプログラムを検討する上で、J-DESCの協力が必要である。

- (5) Equatorial Pacific乗船研究者募集開始について；荒井委員、事務局
荒井委員より、当募集への応募者が現在まだいないこと、航海スケジュールが決まれば
応募が増えると予想されることが説明された。

普及/広報活動関連

- (6) E&O TF Meeting報告；木戸オブザーバー
標記の件について、木戸オブザーバーより報告がなされた。
- ・日本が求めているプレスリリースのガイドラインについては、引き続き検討がおこなわれる。
 - ・JOIが制作しているE&Oコンテンツ (Teacher at Sea等) を、IODP参加各国は活用して欲しいとの提案があった。
 - ・日本側のE&O 活動として、「Teacher at CHIKYU」、「Sand for Student」が検討中であることを報告した。
 - ・IODP展示ブースの出展について、日本側は連合大会、AOGSを担当する。また、ブース展示費用はIODP-MIが提供し、展示コンテンツ提供についても協力していくことが確認された。
 - ・プレスの問い合わせに対応できるよう、IODP-MIが専門分野別のサイエンスエキスパートのリストを求めている。
リスト作成は行わず、必要に応じてJ-DESC専門部会にて対応することとする。

- (7) 日本サンゴ礁学会第9回大会のJ-DESC後援について：鈴木部会長
標記の件について、J-DESCへ後援の依頼があり、昨年と同様に引き続き後援を継続することが鈴木部会長より説明された。
今後のJ-DESCへの後援申請については、部会長、部会長補佐、事務局で判断し、執行部会では報告事項とする。

- (8) IODP大学&科学館キャンペーン (東北大学) 報告：事務局
事務局より、J-DESC Newsletter Vol.1 が発行され、J-DESC HP にても公開予定であること、また、東北大学で行われたキャンペーンについて報告がなされた。
- ・大学向け、一般向けの講演会ではそれぞれ50名が傍聴した。
 - ・マリンテクニシャン等、IODPに関わるキャリアパスについて、学生から多くの関心が寄せられた。

研究支援関連

- (9) 会員提案型活動経費後期募集開始について：事務局
標記の件について、今期の活動経費予算を100万円で計上しており、11月20日まで募集を行っているとの説明が事務局よりなされた。

2. 審議事項

普及 / 広報活動関連

(1) 第2回IODP成果報告会について：石橋委員，事務局

10月28日(土)に開催される第2回 IODP 成果報告会について、当日のロジ、また MEXT が行った事前のプレスリリースについて、事務局より説明がなされた。

なお、木戸オブザーバーの指摘により、IODP-MIが発行しているIODP E-Newsにて本報告会の開催報告を掲載することを検討することになった。

(2) 地球惑星合同大会セッション (IODP) 提案について；石橋委員

標記の件について、石橋委員より説明がなされた。

- ・ 成果報告会の位置づけではなく、IODP・ICDP合同セッションとして検討する。
- ・ 共同コンピーナーとして、石橋委員、北里委員、白井委員、そして事務局より長橋氏を登録することで検討する。
- ・ 成果報告会は、参加者の都合を考えセッション翌日に開催することで検討する。
- ・ セッションを登録する際の主たる研究分野をどうするか検討する。
- ・ 陸上掘削部会とも連携をとる必要がある。

(3) SSEP札幌会議への大学院生の出席 (派遣) について：石橋委員，事務局

標記の件については、事務局より担当の阿波根委員に伺い、対応することが確認された。

研究支援関連

(4) 「海の地質基準」(日本地質学会海の地質基準委員会) 執筆者推薦と執筆協力の依頼について；鈴木部会長，佐柳委員，事務局

標記の件について、鈴木部会長より説明がなされ、J-DESC として依頼を承諾し、CDEX、地質学会と協力していくことが確認された。

- ・ IODP 部会長名で文書として返答する。
- ・ 執行部における本担当は、海野氏、佐柳氏とする (代表窓口は海野氏)。
- ・ 本執筆は、J-DESCとしてもサポートするが、地質学会も合同ファンドとしてサポートしていただきたい。
- ・ 会員提案型活動経費については、今後も検討を継続する。なお、使用用途については、審査委員会がある程度変更ができるように検討する。

(5) 『わが国における海洋研究船のあり方に関する提言(案)』に関するご協力のお願ひについて；北里委員

標記の件について、北里委員より説明がなされた。

- ・ IODP部会として本件に対応することとする (返答する)。
- ・ 趣旨には賛同できるが、結語には賛同できかねる部分もある。提案賛同団体として J-DESCも名を連ねることは難しい。

- (6) 会員提案型活動経費選考委員会委員の選出について；事務局
標記の件について、異委員の退任により欠員が1人発生していることが事務局よりされ、選考委員選出（案）を提案した。
- ・現在の選出基準では、001となる委員が発生する。
 - ・委員選出基準については、選出時の資格を任期中適用する。委員長については、資格を失った際には退任する。
 - ・事務局が提出した委員選出（案）について、執行部の了承が得られた。
 - ・新たに、海野委員が選考委員として選出された（任期1年半）
- (7) ちきゅう研究区画整備に関わるQAアドバイザー設置について；倉本オブザーバー
標記の件について、研究区画へのコメント取りまとめ案と各実験機器の実験方策についてJ-DESCの助言を仰ぎたいとの説明が倉本オブザーバーよりなされた。
- ・CDEXによる研究区画の改善策の策定にむけて、J-DESCとして助言、協力を行う。
 - ・CDEX作成の改善策案を、高知コアセンター等を使用した検証をJ-DESCが行うことを検討する。
 - ・J-DESC委員の参加形態（ボランティア等）、旅費支給について検討する。

3. その他

- (1) IODP広報用DVD作成（AESTO製作）について
AESTOにて制作準備中の標記広報映像において、コンテンツ内容等について執行部からのコメントを頂きたいとの説明が事務局よりなされた。
- (2) その他の報告事項など
執行部会の部会委員任期について、体制整備に伴い仕事量が増加しているため、現在の3年から2年に任期を変更する提案が鈴木部会長より示され、検討していくことが確認された。
- (3) 次回、執行部会日程
11月最終週から12月第1週を開催候補として、日程調整していくことが確認された。